

▲ 県産材の普及、地域交流を目指して建設される大幡公民館完成予想図

市内出身者、在住の方々の個展の開催などをさらに積極的に推進してまいります。

最近、我が国の農業を取り巻く情勢は、国際化時代を迎え、多くの課題を抱えています。そのような状況の中で今後市における農業振興の基本方向は、地域振興作物の策定による換金可能な作物の栽培推進、域内流通体制の強化、企業との連携による契約栽培の実施など、農業の活性化を図るとともに、中核的農家育成のため、農地流動化による農地の集積を図りながら経営規模の拡大を推進してまいりたいと考えております。

また、林業につきましては、今、多くの地域で林業の不振に喘ぎ、かつての活気が失われております。しかし、その一方で森林は、あと十年もまたずに次々に伐採期を迎え、国産材時代の到来が間近にせまっていますと考えます。

こうした中、本市では県産材の需

の地域文化研究と、これを比較・総合する比較文化研究の教育研究で、平成五年四月開設を予定しております。今後も個性豊かな大学づくりを目指してまいります。

社会教育につきましては、市民の生涯学習の要求の高まりから、市民が幼児期から高齢者まで生涯各期にわたり学習の機会が得られるよう、生涯学習体系の確立を目指しているところであります。幸いにその拠点となるふるさと会館・女性センターも完成し、関係施設がより一層充実しましたので、ふるさと会館のアートホールを活用して増田誠画伯の常設展あるいは

農林業の振興

要拡大と林業振興を図るため、本年度新設された県の事業である「県産材活用モデル公共施設整備事業」の指定を受けるとともに、県産材を活用して上大幡公民館の建設に着手しました。

さらに、現在、林務事務所と市町村、森林組合を含め、林業業者と産地形成型林構を進めており、生産から流通、加工までの計画的安定的な供給体制の確立を図りつつ、あわせて林道網の整備を進めております。また、間伐促進事業、松くい虫防除事業、造林事業等も推進してまいります。

商工業の振興

最近の経済状況を見ますと、国内需要が堅調に推移し、景気拡大が続いているものの、拡大のテンポは減速しつつあり先行き不透明になっております。加えて深刻な人手不足問題等もあり、中小企業を取り巻く経営環境は、厳しい状況となっております。

このような経営環境のもとで、経営改善普及事業及び商工業者の振興発展を図るため、地域商工業者、商工会、都留市が一体となり、関係者のご理解とご協力により、昨年九月都留市商工会館建設に着手しました。これにより時代に対応する

活力ある地域づくりが期待されます。

次に商業対策として本年は大規模小売店舗法の改正等を迎え、今後ますます厳しくなることが予想されますので、中小小売業者の振興に対応するため、今までと異なった経営の近代化、商店街の活性化を図り大型店対策として「都留市ショッピングセンター」（仮称）を建設すべく努力してまいります。

また、昨年六月オープンしたふるさと会館におきましては、地場産品コーナー等を設置し、市内商工業者による地場産業の紹介及び商品販売を行い、市内外から

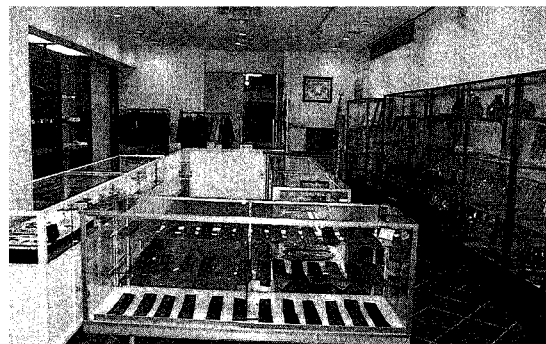


▲ 都留市の一大イベントとなった大名行列

本市の一大イベントとなった八朔祭「大名行列」も昨年復活十年を迎え、過去最高の約六万人の人数を記録しました。これを機に本市の商工業・観光の振興に結び付け、八朔祭「大名行列」がますます盛大に行われるよう市民の皆様のご協力を頂く中で努力を重ねて行きます。

以上、年頭にあたり二十一世紀を見つめて抱負を申し述べましたが、市民総参加、対話の市政を引き続き推進して住みやすく・住んでよかったと実感できるまちづくりを目指して全力を上げ取り組んでまいります。

市民の皆様の一層のご支援ご協力をお願いして、新年のごあいさついたします。



▲ ふるさと会館地場産品コーナー